

FUKUI DAIZU 情報

福大豆

No.3

麦の刈り取りも終わり、いよいよ大豆の播種が始まります。昨年大豆の平均単収は約120kgです。近年は低単収が続いていますが、今年産大豆の単収アップを目指して適正な播種作業を行いましょう。特に、播種時の土壌水分と播種量に注意して、発芽・苗立ちを高め大豆栽培の良いスタートを切りましょう。

1. 播種作業

播種のポイント

■ 播種作業は、ゆっくり丁寧に行う。

① 目標の苗立数

里のほほえみ 16本/m²(条間75cmで12本/m)

② 『ゆっくり播種で碎土率を上げると・・・』

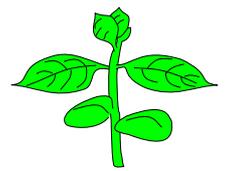
- 発芽・苗立ちが良くなる
- 根量が増え根粒菌が増える
- 除草剤の効果が十分に得られる
- 培土がしやすくなる

③ 播種時の注意点(クルーザーMAXX)

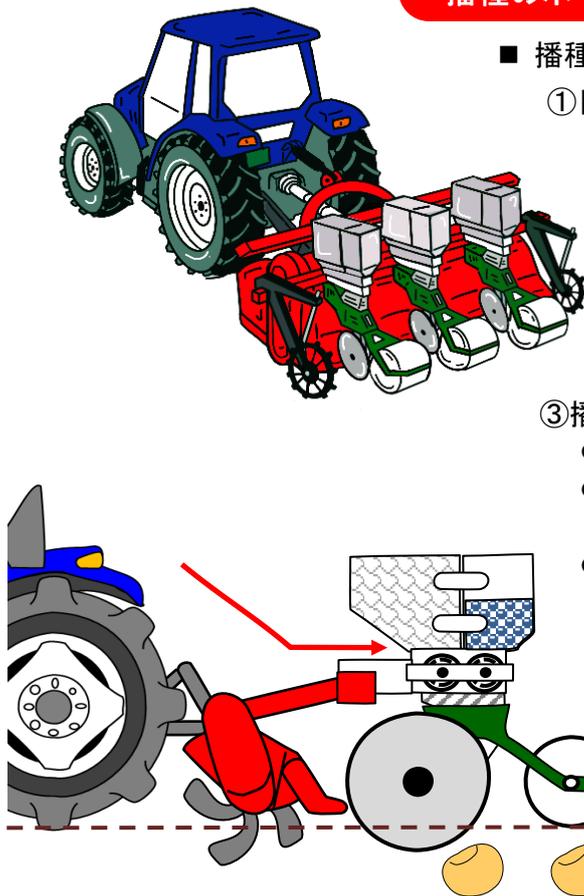
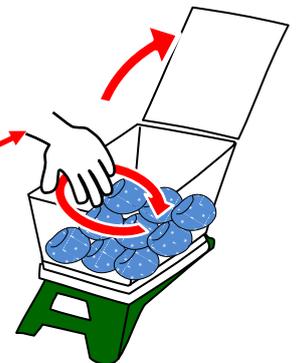
- 降雨時の播種作業は避ける
- 休憩中は、種子タンクのフタを開けておく。(水滴防止)
- 休憩後は、タンク内の種子をカクハンする。(種子付着防止)

④ 播種深度

播種深度は3cmが基本。播種前後に雨が予想される場合は、やや浅めとします。
(注意: 播種後の大豆が露出しないように!)



【播種機種子タンク】



2. 播種が遅れる場合の対応(6月中旬以降)

福井での大豆播種期限(最終)は、収量の面からは6月20日頃とされています。播種が遅れる場合は、下記の対策を実施しましょう。

① 播種期限の目安 : 6月20日頃まで。

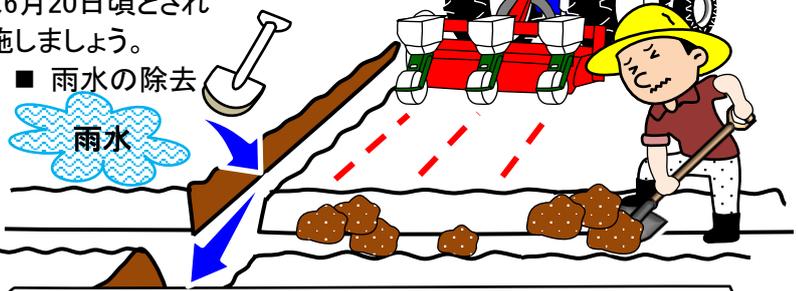
② 排水対策の徹底

- * 播種前の表面 : 雨水除去
- * 播種前後の排水溝 : 溝崩れの手直し

③ 播種量を増量 : 1~2割程度

播種時期が遅れた場合、生育不足で減収します。生育不足を栽植密度で補うために、播種量を増やしましょう。

播種前の排水対策



■ 雨水の除去
雨水

播種後の排水対策

- 大豆播種後は速やかに排水溝の崩れを直す。